

九、日蓮正宗の宗門や僧侶が信用できないから脱会しない

あなたが「宗門や僧侶は信用できない」という根拠がどこにあるのかわかりませんが、おそらく創価学会が喧伝しているような、宗門への誹謗や僧侶個人に対する悪口雑言をもととして、不信感を抱いているのでしよう。

世間には「火のないところに煙は立たない」という言葉がありますが、創価学会の手法は、まさに「火のないところに無理やり煙を立たせる」ものであり、これは、池田大作の「嘘も百遍いえば本当になる」との考えによるものです。

現在、創価学会が執拗に繰り返している宗門誹謗や僧侶攻撃は、宗門僧侶を貶め、日蓮正宗の仏法から会員を遠ざけるための謀略であり、その内容のほとんどはデマ捏造の類です。

日蓮正宗は、七十五年の間、本門戒壇の大御本尊の御威光のもと、御歴代人による正法嚴護の尊い御苦心によつて、今日まで日蓮大聖人の仏法を正しく伝えている唯一の宗団です。この宗門の願いは正法興隆と広宣流布であり、全民衆の幸せにあります。とりわけ、宿縁深くして正法に帰依した法華講員の信心倍増と罪障消滅、さらには即身成仏のために、宗門はあらゆる努力をしています。

御当代御法主日如上人は、毎朝の丑寅勤行において、妙法による世界の平和と民衆の幸せを御祈念され、また、創価学会の心ない誹謗中傷を御一身に受けながらも、本宗僧俗を正しい信仰に導くために、常に尊い御指南をされています。

また、日蓮正宗の僧侶といえども凡夫の身ですから、欠点もあり、ときには勘違いもありますが、僧侶としての使命を果たそうとする一念に偽りはありません。

この宗門・僧侶の道念を信頼していただきたいのです。

あなたは創価学会の誤りに気づいたのですから、身にそなわった仏縁を無にすることなく、安心して日蓮正宗寺院を訪ねてください。そこから必ず真の幸せを築く道が開かれることでしょう。